

# ハヤブサの「善」と「榎」

動物園には、けがをして保護された動物も生活しています。その中に今年になって保護された性別不明のハヤブサが2羽います。長野市で保護されて仲間入りしたのが「善」<sup>ぜん</sup>。写真<sup>えのき</sup>で、中野市の方は「榎」<sup>えのき</sup>です。

# 飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

飼育していると、同じハヤブサでも性格が異なることに気づかされま  
す。善はまだ若いので、顔つきに幼  
さがあります。差し出した枝に乗る

など健康管理  
のためのトレ  
ーニングをし  
ているうち  
に、脚や翼を  
触らせてくれ  
るまでになり  
ました。

榎は逆に警  
戒心が強く、  
手で餌を与え

## もう飛べない体 せめて健康に

れば食べてくれますが、体を触ろう  
とするとすぐに逃げてしまいます。  
もともと野生なので、人を警戒する  
のは当然です。トレーニングなどを  
通し、信頼関係をつくっていきたく  
と思います。

2羽とも翼を傷めて保護されたの  
で、空を飛ぶことはもうできませ  
ん。高く舞い上がった空で悠然と羽  
を広げ、獲物を見つけたらものすご  
いスピードで急降下する。善と榎  
はそれができないのです。せめて健  
康に、幸せに暮らしていけるよう、  
心を砕いていくつもりです。

